

## ◆津波予報の種類による避難指示と取るべき行動など

予報の種類	予報される津波の高さ	避難指示・勧告などの区別	沿岸地域での行動	避難所の開設
津波警報	大津波 3m以上	避難指示 2m	ただちに高台にある避難できる場所に避難しなければなりません。	開設
	津波 1m		速やかに高台にある避難できる場所に避難しましょう。	開設
	津波注意報 0.5m	注意広報	沿岸に近づかないよう十分注意しましょう。	必要に応じて開設

● 河川に近づかない！  
津波は河川をさかのぼるので、河川にも絶対に近づかないようにします。

● 津波は繰り返しやってくる！  
津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。津波警報や注意報の発令中には高台にある避難できる場所などで待機を続けましょう。

● 避難勧告と避難指示  
「避難勧告」は、気象庁から津波警報などが発令され、1m以上2m未満の津波が沿岸地域に到達する恐れのある場合に、また、「避難指示」は、2m以上の高い津波や3m以上の大津波が、沿岸地域に到達する恐れのある場合に市長が発令します。これらは市民の皆さんの生命と身体を津波から守り、被害の拡大を防止するために、発令されるものです。

「避難勧告」や「避難指示」が発令されたときには、広報車、防災行政無線、エフエムもえる、防災連絡員などを通じて、市民の皆さんにお知らせしますので、速やかに避難してください。

一方では、高齢者や障がい者など介助が必要な方や子どもたちなど、施設の職員、近所の方々などの協力によって、多数の方が避難できることもわかりました。

東日本大震災で最も重要な教訓の一つが、「自分の生命は自分で守ること」、そして支援が必要な

**災害から生命を守る  
自助・共助**

9月号では、今後の防災対策についてお知らせします。

防災に関するお問い合わせは  
市・総務課 ☎42・1801



津波から生命を守る

# 自助・共助

東日本大震災の教訓を活かして

未曾有の被害をもたらした東日本大震災で、日本国民は津波のおろしさを目のあたりにしました。私たちは、この大震災から学んだ多くの教訓を活かすため、今月号では「津波から生命を守る」ための日頃の心構えなどをお知らせします。

## 地震と津波 冷静な行動と素早い避難

津波は地震という前触れの後にやってくるもので、突然発生するわけではありません。

これまでも、地震が弱いのに津波が大きかった「明治三陸地震津波」、地球の反対側の地震から発生し、押し寄せた「チリ地震津波」など、津波は一つひとつ違います。今回の東日本大震災でも、地形などの条件によって津波の高さや動き、スピードなどが違い、また、第一波より第二波以降が大きかつたため、第一波を見て安心して、自宅などに戻つてしまい被災された方も多数います。

津波から身を守るために、高台にある避難できる場所などに一刻も早く避難することが必要です。

東日本大震災では、時間の経過とともにその被害の状況がわかつてき、テレビや新聞などで連日のように報道されています。

その中には、学校に行つている子どもを迎えに行つたり、家族の様子を見に行つたりする途中で津波に巻き込まれた方も多数いたことがわかりました。

この教訓をもとに、日頃から家族団らんの時など、自分の命は自分で守るため、「それぞれがどこに避難するか」「その後の連絡方法はどうするか」などについて話し合うことが大切です。

人には周りの人たちが協力して助けあう「自助と共助」の大切さです。そのためにも、「自分たちの命は自分たちで守ること」を目的に、町内会などの地域の住民が協力し合つて取り組む「自主防災組織」の活動が大切です。

また、「自助と共助」を実践できるようになるため、日頃から防災意識を高め、自主防災組織自ら防災訓練などを重ねていくことが必要です。

● 正しい情報を知る！  
テレビ、ラジオ、携帯電話などを通じて、正しい情報を入手しましょう。ただし、海岸などで地震を感じた場合は、情報収集よりも先に避難しましょう。

津波から身を守るため、次の6つのポイントに注意してください。

**津波が起きた時の6つのポイント**

● 津波のスピードは速い！

揺れを感じたらすぐに避難をし、小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は津波が来る危険があります。また、揺れを感じなくとも津波警報が発令されたときは、急いで高台にある避難できる場所などに避難しましょう。

● 小さな揺れでも油断しない！

市では、自主防災組織の立ち上げや防災訓練などのお手伝いを行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

● 海岸に近づかない！

津波警報や注意報が発令中は、海岸には絶対に近づかないようにしまします。

● 防災訓練などを重ねていくことが必要です。